

道北の小企業動向調査

株式会社日本政策金融公庫はこのほど全国中小企業動向調査を実施しました。道北地域の小企業の令和5年1月～3月期の実績および令和5年4月～6月期の見通しについては以下のとおりです。

調査方法	アンケート方式	調査時点	令和5年3月中旬	調査項目
有効回答数 と調査対象	公庫国民生活事業取引先71企業のうち50企業（有効回答率70.4%）		1 業況判断 2 売上 3 採算 4 資金繰り 5 借入 6 設備投資 7 経営上の問題点	
	上川管内全域、宗谷管内全域、留萌管内全域、および空知管内のうち北空知地域（深川市、秩父別町、北竜町、雨竜町、妹背牛町、沼田町）に本店所在地がある企業から抽出。			
回答企業の 業種別内訳	<ul style="list-style-type: none"> ●建設業(従業者20人未満) … 2企業(構成比4.0%) ●製造業(従業者20人未満) … 10企業(構成比20.0%) ●運輸業(従業者20人未満) … 1企業(構成比2.0%) ●卸売業(従業者10人未満) … 5企業(構成比10.0%) 		<ul style="list-style-type: none"> ●小売業(従業者10人未満) … 15企業(構成比30.0%) ●飲食業(従業者10人未満) … 9企業(構成比18.0%) ●サービス業(従業者20人未満) … 8企業(構成比16.0%) 	

注 各調査項目の「全国」の数値については、当公庫総合研究所が集計した「全国中小企業動向調査(小企業編)」(日本政策金融公庫 ホームページ <http://www.jfc.go.jp/>)を参照。

5年1月～3月

道北小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある。

今期の業況判断DI(全業種計)は▲14.0ポイントと、前期に比べ8.4ポイント上昇した。

来期は▲24.5ポイントと、10.5ポイント低下する見通しである。

売上DIは、前期に比べ24.5ポイント低下した。来期は12.3ポイント上昇する見通しである。

採算DIは、前期に比べ11.4ポイント低下した。来期も同ポイントとなる見通しである。

資金繰りDIは、前期に比べ10.4ポイント低下した。来期は14.8ポイント上昇する見通しである。

	4年10月～12月期 (前期)	5年1～3月期実績 (今期)〈全業種計〉		5年4～6月期見通し (来期)〈全業種計〉	
業況判断DI	▲ 22.4	▲ 14.0	前期比 8.4ポイント ↑	▲ 24.5	今期比 ▲ 10.5ポイント ↓
売上DI	0.0	▲ 24.5	前期比 ▲ 24.5ポイント ↓	▲ 12.2	今期比 12.3ポイント ↑
採算DI	▲ 21.3	▲ 32.7	前期比 ▲ 11.4ポイント ↓	▲ 32.7	今期比 0.0ポイント →
資金繰りDI	▲ 14.6	▲ 25.0	前期比 ▲ 10.4ポイント ↓	▲ 10.2	今期比 14.8ポイント ↑
借入DI	▲ 9.5	0.0	前期比 9.5ポイント ↑		

業況判断DI = 「良い」とした企業割合と「悪い」とした企業割合の差

採算DI = 「黒字」の企業割合と「赤字」の企業割合の差

借入DI = 「容易」とする企業割合と「困難」とする企業割合の差

売上DI = 前年同期と比べて「増加」した企業割合と「減少」した企業割合の差

資金繰りDI = 前期と比べて「好転」した企業割合と「悪化」した企業割合の差

5年1月～3月

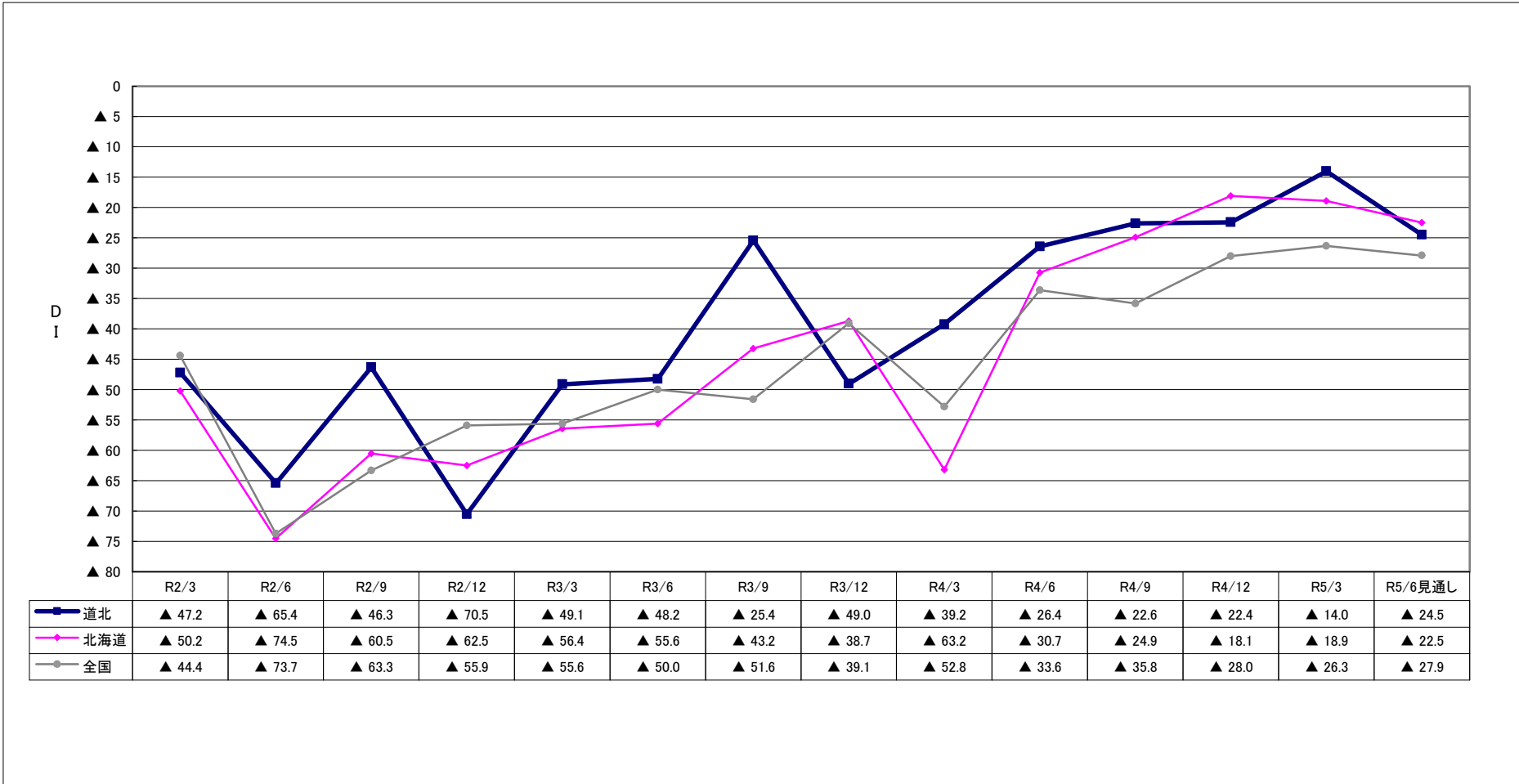
業況判断

- 今期の業況判断DIは、卸売業、小売業、サービス業が低下。合計では前期(▲22.4)に比べ8.4ポイント上昇し▲14.0である。
- 来期は建設業、製造業、小売業、サービス業が低下する見通しであり、全体としては10.5ポイント低下の▲24.5となる見通しである。

	建設業	製造業	運輸業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業	道北地区 (全業種合計)	北海道全域 (全業種合計)	全国 (全業種合計)
前期										
4年10～12月期	0.0	▲ 22.2	0.0	0.0	6.7	▲ 77.8	▲ 42.9	▲ 22.4	▲ 18.1	▲ 28.0
↓	0.0	32.2	0.0	-60.0	-13.4	77.8	-7.1	8.4	-0.8	1.7
今期										
5年1月～3月期	0.0	10.0	0.0	▲ 60.0	▲ 6.7	0.0	▲ 50.0	▲ 14.0	▲ 18.9	▲ 26.3
↓	-100.0	-21.1	0.0	20.0	-13.3	22.2	-25.0	-10.5	-3.6	-1.6
来期(見通し)										
5年4～6月期	▲ 100.0	▲ 11.1	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0	22.2	▲ 75.0	▲ 24.5	▲ 22.5	▲ 27.9

5年1～3月期 業況判断

業況判断D I（全業種計）の推移



- 今期は「売上不振」が24.0%と最も多かった。次いで、「利益減少」が22.0%、「原材料高」、「求人難」が18.0%となった。

(注) 経営上の問題点(上位4項目)とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位まで示したものの。
 「原材料高」は、前回調査より経営上の問題点の項目に追加されたもの。

経営上の問題点の推移(全業種計、上位4項目)

